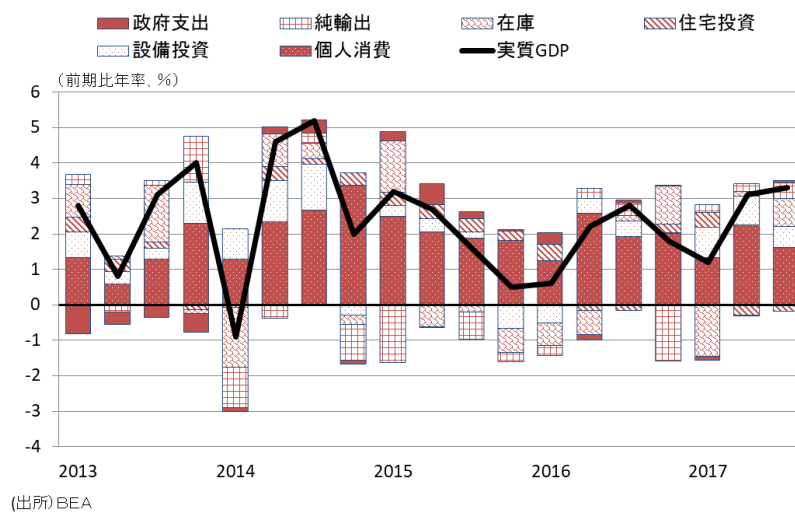


## 経済レポート

# 米国景気概況(2017年12月)

## 概況 ~ 堅調な回復が持続

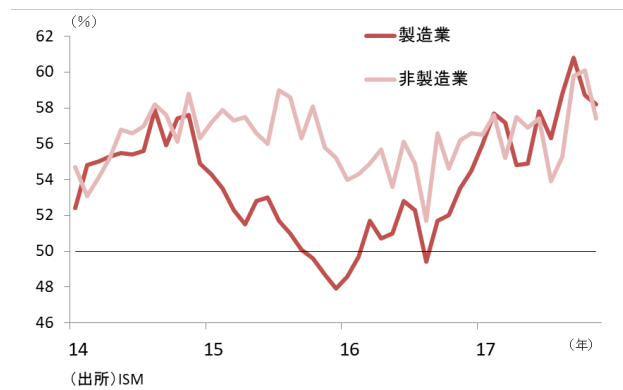
- 7-9月期の実質 GDP 成長率（改訂値）は前期比年率 + 3.3%と、速報値から0.3%pt 上方修正された。改訂の内訳をみると設備投資、政府支出、在庫の寄与度がそれぞれ0.1%pt ずつ拡大しており、総じて景気は堅調な回復基調にあることが窺える。

**図表1. 実質 GDP 成長**


## 【企業活動】

- 企業部門は、秋口のハリケーン被害による停滞からの回復基調が続いている。10月の生産指数はいずれも高い伸びをみせた。企業マインドも良好で、11月のISM景況指数は製造業（58.2%）・非製造業（57.4%）ともに、前月から低下したものの景気拡大を示す水準を維持した。低下の中身を見ると、製造業は入荷遅延指数が全体を下押しした。非製造業も9、10月の急速な拡大ペースが足元で一服した。

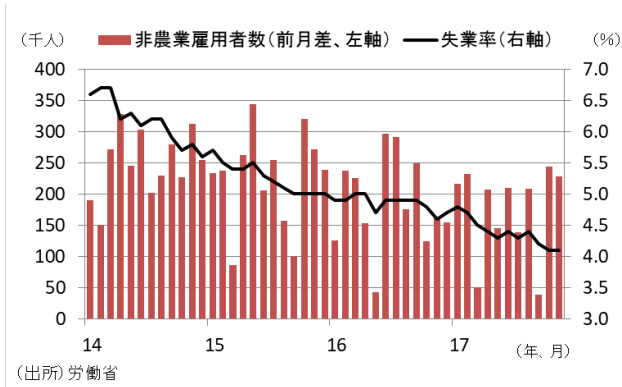
**図表2. 生産指数**

**図表3: 企業景況感 (ISM)**


## 【雇用】

- ・ 雇用情勢は改善が続いている。11月の非農業部門雇用者数は前月差 +22.8万人と、前月（同 +24.4万人、改定値）並みの増勢が続いた。業種別には製造業やヘルスケア産業での増加が目立った。失業率は4.1%と前月から横ばい、17年ぶりの低水準が続いた。
- ・ 一方、11月の平均時給は前年比 +2.5%と、前月（同 +2.3%）から小幅加速したが、依然力強さを欠く。

図表4. 雇用者・失業率



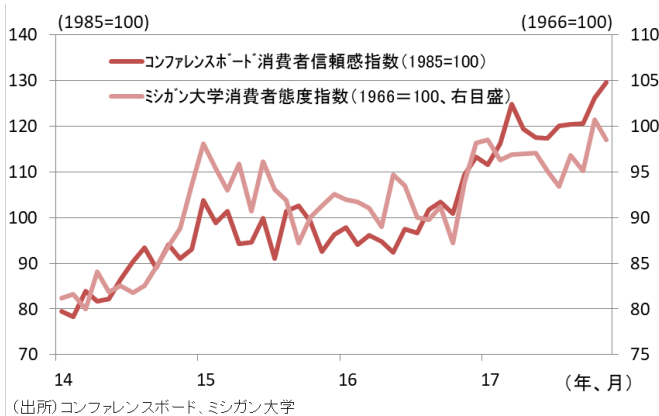
図表5. 賃金



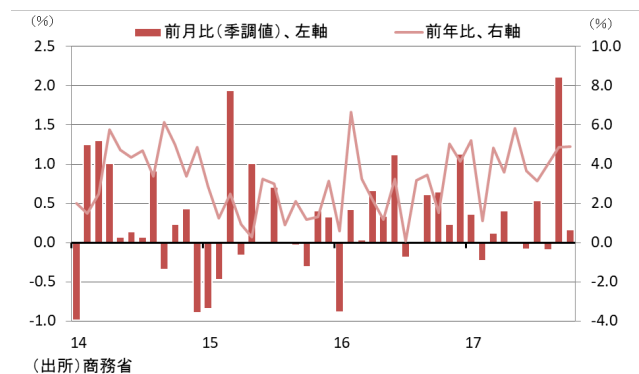
## 【個人消費・住宅】

- ・ 雇用・所得環境改善などを背景に、消費者マインドは改善基調にある。こうしたなか小売売上高は、ハリケーン特需による押し上げ効果が剥落した10月も、前月比 +0.2%とプラスの伸びを維持した。感謝祭後の年末商戦も好調な出足となっている。

図表6. 消費者マインド

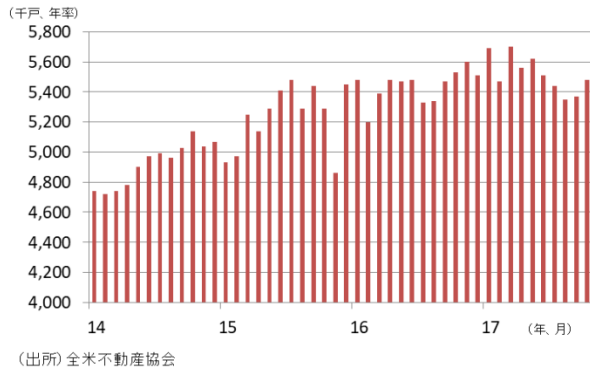


図表7. 小売売上高（除く外食）

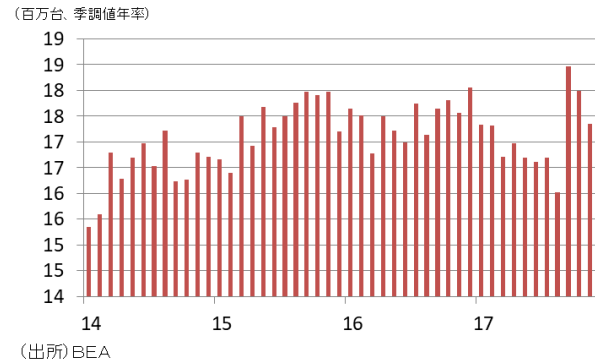


- ・中古住宅は在庫不足のなかにも、購入層の買い時判断に支えられ、販売戸数は2カ月連続で増加した。一方、新車販売は引き続き高水準ながら、ハリケーン後の買い替え需要が一服しつつある。

図表8. 中古住宅販売戸数



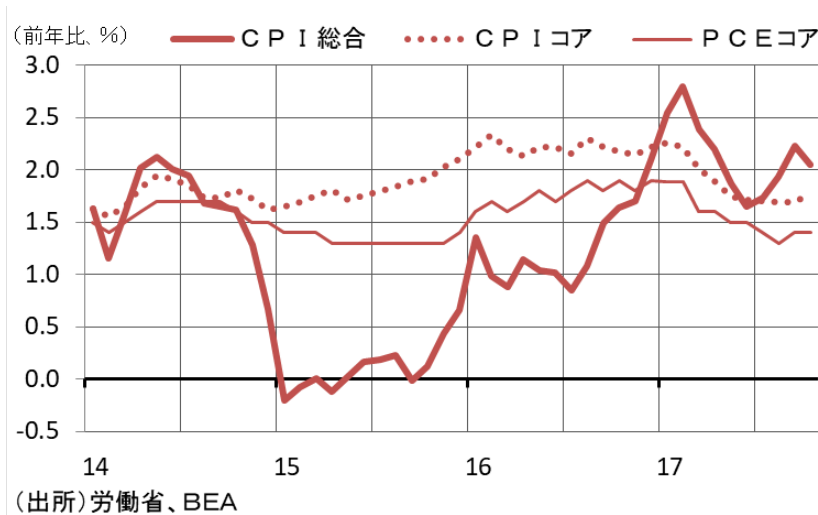
図表9. 新車販売台数



### 【物価】

- ・10月のCPI総合はエネルギー価格の下落を反映し前年比+2.0%と、前月(同+2.2%)から小幅低下した。CPIコアは同+1.8%と、5月以降の横ばい(同+1.7)での推移から小幅加速したが、FRBが重視するPCEコアデフレーターは同+1.4%にとどまった。

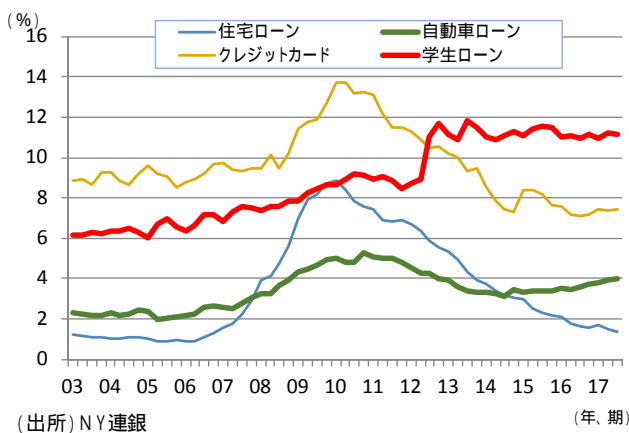
図表10. 消費者物価上昇率



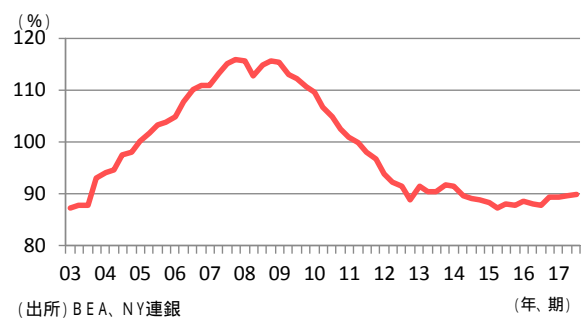
## トピック ～個人債務残高は可処分所得比では落ち着き

- ・ 米国経済の基調は強いが、やや気がかりな点の一つに、一部個人ローンの延滞率が高止まりしている点がある。学生ローンの延滞率はここ数年10%を超える水準が続いており、自動車ローンの延滞率も2015年以降は上昇傾向にある。
- ・ 学生ローンについては、私立大学の学費高騰が背景にあり、社会問題としての側面も大きい。一方、自動車ローンも、商業銀行による同ローン残高の伸びが2017年に入って抑制気味になっているなど、今後の自動車販売動向に影響する可能性もある。
- ・ ただ、個人債務全体の残高を可処分所得との対比でみると、リーマンショック前のピーク時には110%を超える水準であったのに対し、足もとは90%程度で落ち着いている。また、全体の7割近くを占める住宅ローンの延滞率も低位で安定している。したがって、個人債務全体で見れば、大きな懸念には至っていないといえよう。

図表11. 個人ローンの延滞率



図表12. 個人債務残高の可処分所得比



(以上)

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。